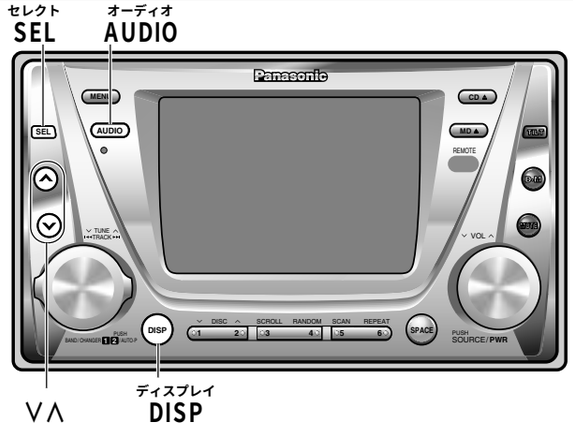


① メニューから項目を選び

① AUDIO でメニューを表示させて、
② ∨∧ で項目を選び、
③ SEL を押す。

② 設定する

∨∧ で選択・調整する。

※項目は SEL で切り替える

お知らせ

- **設定画面で約 10 秒間何も操作しないと…**
  もとの画面に戻ります
- **AUDIO メニューに戻すには…**
  AUDIO 押す
- **通常モードに戻すには…** DISP 押す
- **記憶されている設定・調整を全て初期化するには…** 39 ページをご覧ください。

音質調整

リアスピーカー、プリアウトの出力を設定する
（サブウーファー設定）

システムに合わせて出力を選んでください。

初期設定：REAR-SP　. . . . .REAR
　　PRE-OUT　. . . . .FRONT

「SUB-W」に設定した場合は、出力を調整できます。（☞ 次項）

サブウーファーの出力を調整する
（サブウーファー調整）

リアスピーカー、またはプリアウトの出力が「SUB-W」に設定されている場合のみ、調整できます。（☞ 前項）

初期設定：DELAY　. . . . . .0 ms
　　LEVEL . . . . . .0 dB
　　LPF . . . . . .FLAT

外部アンプ（別売）に内蔵されている LPF 調整機能を使用する場合は…
- 本機の DELAY 調整を「0 ms」、LPF 調整を「FLAT」にしてください。

音場の広がりを調整する
（ワイド/ナロー）

初期設定：0
調整範囲：各 3 ステップ（－ 3 ～＋ 3）

AUDIO から

SUB-W SET を選び

■ REAR-SP（リアスピーカー）

REAR ：通常のリアスピーカーとして使用する [ステレオ]
SUB-W ：サブウーファー用として使用する（低音域の音を出力する）[モノラル]

■ PRE-OUT（プリアウト）

FRONT ：フロントプリアウト用として使用する [ステレオ]
　●システムアップ用のスピーカーを接続した場合
SUB-W ：サブウーファー用として使用する（低音域の音を出力する）[モノラル]
　●サブウーファースピーカーを接続した場合

SUB-W CONT を選び

■ DELAY（ディレイ時間）

出力のタイミングを調整する（0ms ： 同じタイミング）
調整範囲：－ 10ms ～＋ 10ms（1ms ごと）※ 1ms = 0.001秒
「－」 ：他のスピーカーよりも、出力が早くなる
「＋」 ：他のスピーカーよりも、出力が遅くなる

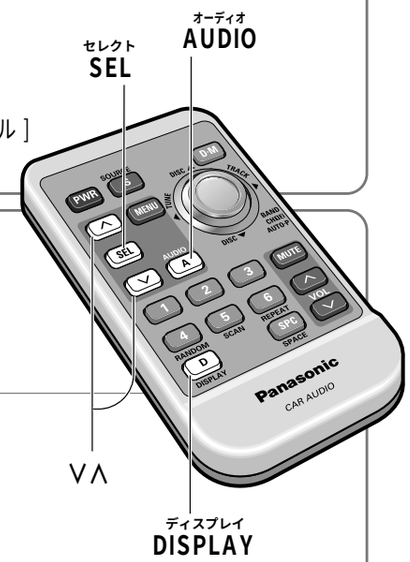
■ LEVEL（音量レベル）

調整範囲：－∞dB、－ 10dB ～＋ 10dB（2dB ごと）
－∞ dB ：接続したアンプやリアスピーカーから音が出なくなる
「－」 ：音量レベルが下がる
「＋」 ：音量レベルが上がる

■ LPF（カットオフ周波数）

高音域をカットして、低音の厚みを調整する
出力する低域周波数の上限を選ぶ

FLAT（カットしない） | 100 Hz | 150 Hz | 200 Hz



WIDE/NARROW を選び

「－」（NARROW）：音場が狭い空間の雰囲気になる
「＋」（WIDE）　：音場が広い空間の雰囲気になる

※音場を設定してください。（スペース ☞22 ページ）

お知らせ
- 各モード（AM、FM、CD、MD、CH、AUX、D･M）ごとに、調整できます。

使いかた